

## コーポレート・ガバナンス

[企業ステートメント](#)[クラレグループ行動規範](#)[コンプライアンス・ハンドブック](#)[トップステートメント](#)[サステナビリティマネジメント](#)[安全報告](#)[環境報告](#)[社会性報告](#)[コーポレート・ガバナンス](#)[コーポレートガバナンスのポイント](#)[社外役員メッセージ](#)[GRIスタンダード対照表（内容索引）](#)[クラレレポート / バックナンバー](#)[ランドセルは海を越えて](#)[コーポレートガバナンスのポイント](#)[社外役員メッセージ](#)

### 企業文化による強みを活かしつつグローバルガバナンスを確立



社外取締役  
浜野 潤

2016年3月に社外取締役役に就任し、2019年度で4年目となりますが、取締役会における議論の様子は、年を経るごとに活発化していると感じています。以前は、議題ごとの一面的な質疑応答が中心でしたが、よりマルチな視点で集中した議論が交わされるようになりましたし、社外役員からは、各自のバックグラウンドの違いが表れた多様な意見が出てきています。また、社外役員への事前説明にも工夫がなされ、毎回、議題内容につき理解をした上で、取締役会に参加することが出来ています。

近年、クラレの事業はグローバル展開を急拡大させていますが、本社から海外拠点への統制にはレベルアップの余地があるように見受けられます。その国の事情に応じた現地経営の最適化を支援しつつ、ガバナンスのレベルを上げていくことが、クラレが世界に認められる真のグローバルカンパニーとなる上でのポイントと考えています。また企業ステートメントに掲げられている「世のため人のため、他人（ひと）のやれないことをやる」という精神は、クラレが培ってきた最大の強みです。企業と社会の同時発展性を示すこの精神を現地経営にも浸透させることがクラレのグローバルな発展につながるでしょう。

昨年12月には、社外役員・有識者を委員とする経営諮問委員会が設置されました。私も社外取締役としての経験を通じ、経営における社長の役割や責任の重さを理解するようになりました。同委員会では、社長の選解任プロセスや後継人材の育成などの議論をしっかりと進めていきます。

### ESG視点の取り組みにさらなる注力を 社外監査役の視点からサポート



社外監査役  
永濱 光弘

クラレの事業に関する高度な知識や、情報収集力を有する常勤監査役の方々とは異なる立場として、私なりの知見や経験を踏まえ、主として3つの視点からの分析・評価・意見の表明を通じ、社外監査役としての責務を果たし、当社の発展に寄与できればと考えています。

1つ目は、クラレの企業文化と大きく異なる他業種・他業態の価値観を参照した外部の視点。2つ目に、海外事業に長年携わってきた経験にもとづくグローバル展開への視点。そして3つ目に、銀行・証券業界の出身者としてクラレと資本市場の対話を捉える金融・財務面への視点です。

クラレは誠実で、愛社精神と社会への貢献意識を持つ集団であると感じられます。コーポレートガバナンスにおいても、しっかりとしたフレームワークを築いていますが、法令順守や、品質保証、重大事故・自然災害への対応、内部統制の強化、経営判断の合理性向上など、引き続き追求すべきものがあります。外部からの違った見方を入れることで、ガバナンス強化の一助になればと思います。

こうしたガバナンス面も柱の1つとするESG視点の取り組みは、資本市場を見ても無視できない流れとなっており、クラレが資本市場と対話を進める上で、私の金融業界における経験も活かせるはずです。監査役としての役割を踏まえつつ、クラレの発展のために行動していきます。

企業情報	製品情報	研究開発	サステナビリティ	投資家情報
会社概要	事業から探す	基本方針	企業ステートメント	経営方針
ごあいさつ	製品名から探す	技術と製品	クラレグループ行動規範	IRニュース
企業ステートメント	キーワードから探す	組織・体制	クラレグループ人権方針	クラレって？
役員	製品のはてな	歴史	トップステートメント	業績・財務情報
組織図		トピックス	サステナビリティ長期ビジョン・サステナビリティ中期計画	IRライブラリー
沿革			クラレグループのマテリアリティ	株式情報
主な受賞歴			Planet	IRカレンダー
主要グループ拠点			Product	よくあるご質問
会社案内動画			People	
テレビ番組動画			ガバナンス	
広告ギャラリー			GRIスタンダード対照表（内容索引）	
			クラレレポート（統合報告書） / サステナビリティウェブサイト	
			ランドセルは海を越えて	
			イニシアティブ	